

	課題分析	授業改善策
国語	1 割弱（各クラス1～3人程度）ではあるが「自分は授業内容について理解していない」と感じている生徒がいる。学習内容や指導内容において、生徒がより理解できるように工夫をする。	授業中での班活動などをさらに充実させ、生徒の「思考・判断・表現」の伸長を図る。また、小テストや単元テストなどで学習内容の理解度・定着度を図り、「知識・技能」が身に付いていることを実感できるようにする。
社会	90%以上の生徒が主体的に学習に取り組んでいる。1 学年では「思考・判断・表現」に約9%の生徒が、2・3 学年では、「知識・技能」に7～9%の生徒が課題を感じている。	授業のねらいを明確に伝えて話し合い活動などをさらに充実させ、「思考・判断・表現」の伸長を図る。また、小テストやワークなどの取組を増やして、知識や技能の定着を向上させていく。
数学	どの学年においても1 割程度の生徒は「自分は授業内容について理解していない」と感じている。教科の特性上、「わかる」、「できる」を実感できるよう工夫をする。	生徒が学習の理解度を把握できるよう、小テストや単元テストを実施する。また、演習時間を確保し、問題量を増やしたり、話し合い活動を通して他者から知識を得たりすることで、授業内容の理解をより深められるようにする。
理科	多くの生徒は前向きに学習に取り組んでいるものの、学年が上がるにつれ質問7（自分は、授業内容について理解している）について、「あまり思わない」、「全く思わない」と回答する生徒の割合が他の質問に比べ上がっている。	学習が短期記憶にならないように小テストやワークシートを用いて反復練習を重ね、知識や技能の定着を向上させていく。また、話し合いや活動を充実させ身に付けた知識・技能を「思考・判断・表現」の観点で活かせるようにする。
音楽	「先生は授業のねらいについて説明していない」と感じている生徒がどの学年もごく少数だがいる。また、「学習内容について理解していない」と感じている生徒も若干いる。	学習内容や評価のねらいを毎時間明確にする。板書やデジタル教科書など、その課題に応じて使い分け、効果的に提示していくようにする。
美術	1 割弱（各クラス1～3人程度）ではあるが、各学年「評価方法や授業内容について理解していない」と感じている生徒がいる。学習内容や評価方法について、生徒がより理解できるように工夫をする。	学習内容や評価のポイントについて、より明確に板書をしたり、配布資料に明記したりするようにする。また、学習や評価の重要なポイントについて、活動中にも口頭で伝えるようにする。
保健体育	「評価方法や授業内容について理解していない」と感じている生徒がどの学年もごく少数だがいる。実技指導で模範を示すことが生徒の理解につながっている。	単元のオリエンテーションで、評価のポイントをより明確に提示する。また、その単元のねらい、授業でのねらいを分かりやすく提示し、学習の見通しをもたせるようにする。
技術・家庭	与えられた課題にあまり取り組んでいない生徒が1 割程度いる。成績評価からも、1，2 割の生徒は学習内容の定着に課題がある。よって基本の定着が必要である。	いつでもオンラインで取り組み提出できる状態にしてあるが、更に考査前に提出物に取り組みたい人を募った。結果、2 名参加した。次回も継続していく。
外国語（英語）	約90%の生徒が主体的に学習に取り組んでいるが、各学年で約1 割授業内容について理解していない生徒がいる。学習内容の理解と定着を図る。	反復学習などを取り入れて、学習内容が定着する工夫をする。適宜、小テストや単元テストなどで学習内容の理解度・定着度を図っていく。また、毎時間の授業のねらいや目標を明確にして、主体的な取組を促す。